

定時間を超過するほどでした。

今後とも当発表会を継続して年1回開催し、なお一層の技術力の維持・向上と共有化に努め、お客様に安心感と信頼感を与える構造物や技術サービスを提供できるよう努力していきます。

(建設電機部事業部長、エンジニアリング事業部長)

【一般発表テーマ】

- 海外発電所と発電機一貫機 (土木) 工事
- 土庫型に近しいセメント型発電機工事の施工について
- 建設物の維持保全と更新工事について
- 海外建設工事における「アンカー工」の取組について
- 海外建設工事における「スクリュー」掘削工事
- 海外建設工事における「中継り」掘削工事
- 海外建設工事における「掘削」工事
- 海外建設工事における「掘削」工事
- 海外建設工事における「掘削」工事
- 海外建設工事における「掘削」工事

**ダム工学会主催の講演会でKDC 藤野社長が講演**  
**KDC**

1月18日、東京都千代田区永田町の星陵会館において、ダム工学会主催の「第13回講習会—先憂後楽—」が開催され、「水力発電の未来」と題して藤野社長が講演を行いました。新たな水力発電所の建設が下火となる中、講習会小委員会の「再生可能エネルギーの代表である水力発電について、元気が出るような講演内容を」との要望により今回の講演となりました。

ダム工学会は、産業界、官庁、法人、大学などに所属する広い分野の会員が集う学際的協力に

より運営される学会で、今回も水力発電の未来、地震と洪水の複合災害、最近のダム建設や維持管理などホットな話題について活発な質疑が交わされました。

講演は、藤野社長の経験と国際エネルギー機関 (IEA) における活動を通じた報告を基に、国際的なエネルギーに関する話題から環境面における水力発電の分析、火力や原子力発電との関連、世界の包蔵水力、国内における水力発電助成策など多岐にわたる内容となりました。また今後期待される技術として、途上国において開発した水力エネルギーを水素に変換し輸送・輸入する構想も紹介しました。

なお講演資料については、KDC ホームページライブラリーに掲載していますのでご一覧下さい。(土木事業部)

**PLN 向け技術セミナーを開催**  
**J-POWER**

昨年5月に当社とインドネシア国有電力会社 (PLN) との間で締結された技術協力協定の一環として、1月17日にジャカルタの PLN 本社にて技術セミナーを開催しました。

当日は PLN からヘルマン・ダーネA取締役、パンパン・ヘルマワント取締役、当社から水力エンジニアリング部の中野シニアエキスパート、国際事業部 IPP アジアGの藤下グループリーダー

一が出席して開会式が行なわれました。

続いて、講師として茅ヶ崎研究所発電機・系統技術研究室の牧野リーダー・齊藤メンバー、水力エンジニアリング部電気技術室の岡部メンバー・二田メンバー、国際事業部 IPP アジアGの田嶋メンバーが、インドネシア全国から召集された約50名の PLN 技術者に対して、系統解析とその具体例・直流送電・電力系統シミュレーター・超々電界技術についてそれぞれ講演を行い、丸一日、活発な質疑が飛び交うセミナーとなりました。

また、これに引き続き、今年度は5人程度の PLN 技術者が茅ヶ崎研究所での電力系統シミュレーター研修のために2週間程度来日する予定であり、それ以外にも沖縄やんばる海水揚水発電所視察などが検討されています。

この技術協力協定での活動を通じて PLN との関係をより親密なものにし、当社の海外ビジネス拡大につなげていきたいと考えています。

(建設エンジニアリング部技術センター、課長)



▲ J-POWER 社員による講演を熱心に聴く PLN 技術者